

# 野生植物研究所だより

## ● 県内初発見 『バカ』の一種が化女沼で ●

### 【『バカ』って どんな植物？】

みなさんは、『バカ』と聞いてどんな植物が思い浮かびますか？

『バカ』といている植物はどの種類も種子が服などにくっつきます。種子が服などにくっつく『バカ』がくっついたといえます。子供の頃 10 月ごろになるとその植物の頭状花（ぼんぼりのような形の花の部分）をぶっつけっこして遊んだ『バカ』、今回はその『バカ』の仲間の一つが宮城県の化女沼で初めて発見されたという話題です。

### 【二種類の『バカ』】

『バカ』は、水田や側溝・荒地などのジメジメした場所に好んで生える 背丈が1～2メートル前後にもなる植物です。「ああ、あの植物か」と思い浮かべられた方も多いかと思います。その植物は**アメリカセンダングサ**と**タウコギ**の2種類です。

**アメリカセンダングサ**は、北アメリカ原産の帰化植物です。2種類の内、背の高いアメリカセンダングサの方がごく普通にみられます。遊びに使われるのはだんぜんアメリカセンダングサが多いということになります。一方、**タウコギ**は、日本在来の植物です。水田の中や休耕田などにイヌビエなどとともに見られ 1メートル前後のものが多く、頭状花はアメリカセンダングサの倍位の大きさがあります。

今回 化女沼でみつかった県内はじめての植物とは、日本在来種である**タウコギ**とごく近縁の種類の**エゾノタウコギ**です。

### 【写真家 葛西英明さんからの手紙】

9月3日、仙台市に住む写真家であり植物の研究をしている葛西英明さんから手紙が届きました。その手紙の内容を紹介いたします。

「突然お便り差し上げます。この時期毎年化女沼のトリゲモ類の観察に行きますが前から気になっていた通常より花期の早い化女沼の**タウコギ**について丁寧にみてみた結果、次の理由から**エゾノタウコギ**と判明いたしました。①さく果が短いこと②総苞外片の数が多きこと。ただ化女沼は高橋先生はじめ多くの研究者の方が入られている場所なので、一介の写真屋としては判断が揺らぎます。そこで先生にも確認していただきたくお知らせした次第です。もし私の判断が間違いであったならば是非御指摘していただきたく存じます。お忙しい中煩わしいとは思いますがよろしくお願いたします。尚、場所は最後に略図を書きます。」

### 【エゾノタウコギ!】

平凡社の図鑑「日本の野生植物」には**エゾノタウコギ**は温帯から寒帯に成育し、北海道・南千島・樺太・朝鮮・中国（東北）・ダフリアに分布する一とあり、東北には見られなかった植物です。ところがいろいろな調査で、宮城県を除く東北地方で成育していることが分かってきました。しかし、岩手県・山形県では まだ発見されたところが一ヶ所だけで分布上大変貴重な植物の一つです。その植物の一つが長年調査をしてきた化女沼で見つかったということですから驚きです。さっそく化女沼にいったみました。一見普通に見られる**タウコギ**と大変似ているので見間違うことも考えられますが まさしく**エゾノタウコギ**でした。以前に調査したときには見つけかねた植物です。北海道の方から水鳥が種子を運んできたことも考えられます。**エゾノタウコギ**が宮城県では 初めて 化女沼で発見されたということはすばらしいことです。今回の発見を機に、これまで以上にしっかりと調査をしなければいけないと思った次第です。



タウコギ



エゾノタウコギ



アメリカセンダングサ



エゾノタウコギ